専門教育科目　講義科目

科目名：	人材マネジメント論		科目コード	EJ47
科目主査：	内藤 英俊	担当講師： 金田 良子、北山 勝英、齋田 真一、榊原 康成、杉崎 高広、曽我 知子、鶴岡 公幸、豊田 貞光、内藤 英俊、堀内 勝夫、増野 洋子、三沢 直之、溝井 伸彰	単位	2
			配当年次	3・4

授業の目的と概要	グループワーク： ☑ あり ☐ なし	個人ワーク： ☑ あり ☐ なし

組織における人材マネジメントの基本について学習します。人材マネジメントは組織にとって核になる活動のひとつです。それは職場で働く一人ひとりの問題です。テキストに記載されているトピックを自身に置き換えて学習を進めることで、より身近に感じて、成果を高めていただきたいと思います。なお、担当の講師によって、スクーリングの講義計画における授業項目・内容が、授業スケジュールと異なる場合がありますので、ご了承下さい。また、オンライン授業において、テキストの全章を取り上げることは難しいため、割愛する章・節があることもご了承願います。

履修の前提となる科目	☑ あり ☐ なし	科目名： 履修の前提となる科目としては、「経営学入門」を事前に履修しておくと良いと思います。
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読し、重要点や分からない点・理解に自信のない点についてマーキングしておきましょう。 授業にGWを取り入れて進めますので、積極的に意見・情報交換ができる受講者の方々の参加を希望します。	
テキスト	『HRM Essence』産業能率大学,総合研究所,最新版	

この科目の 到達目標	①人的資源管理（HRM）の全体像と基本的制度、人材育成施策について説明することができる。 ②組織の中の人間行動について学習し、リーダーに必要な資質や行動、状況に応じたリーダーシップのあり方を説明することができる。 ③組織における集団メンバーのモチベーションの考え方やあり方について説明することができる。
成績評価 の 方 法	オンライン授業の１日目の授業を受けて、学習したことについてのレポート課題「課題提出」への取り組み状況などにより評価を行います。また、「最終試験」では、１日目の授業および２日目の授業を通じて学習した範囲の客観式問題、専門用語解説、取上げたケース・スタディなどについての記述式問題などを出題し、それらを総合評価します。なお、１日目のレポート課題「課題提出」のテーマ、「最終試験」の問題構成、配点などについては、担当講師により異なりますので、ご了承下さい。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。
事後学習	HRMの基礎概念、HRMの制度と施策、組織の中の人間行動、HRMのあらたな潮流などについて学習してきました。そこで、受講者の皆さんが、所属する組織の中で人的資源に関する問題と対峙した際に、その問題解決の一助となることを期待しています。皆さんの企業等の職場や身近な所属組織において、人的資源に関する問題解決の実践に生かして下さい。
事後学習の 参考文献	『従業員満足のための人的資源管理』岩出 博・加藤 恭子・渡辺 泰宏・関口 和代,中央経済社, 2020 年 『ケーススタディ グローバルHRM(人的資源管理）』桑名 良晴・岸本 寿生・今井 雅和・竹之内 秀幸,中央経済社,2019 年

スクーリング受講時に用意するもの

☑テキスト ☑筆記用具 ☑カメラ・マイクは必須となります。